

# 高木小だより 高木っ子 No2

御船町立高木小学校  
令和7年4月28日（月）  
文責：校長 中村 繁徳

## 高木小学校のたから

### Challenge

「少しずつ、すこしずつ、それが大きい」

新学期が始まり、「すてきだなあ」と感じることがいくつかあります。

その1つは、朝や休み時間の1年生教室の様子です。どの学年の子どもたちも、登校後、提出物を教卓の上に提出したり、ランドセルから引き出しに道具を移したり、ランドセルを棚に置いたり、名札をつけたり等のいくつかの準備があります。慣れた子どもたちにとっては短時間で終わることですが、1年生にとっては、1つ1つが時間がかかる作業です。6年生を中心に他の学年の子どもたちが、毎朝1年生の応援に駆けつけて、作業をサポートしています。準備が終わった子どもたちから、一緒に楽しく遊んでいます。6年生の子どもは、「自分たちの時にも来てもらったことを覚えている。」とにこやかに話します。自分たちがしてもらってうれしかったことを覚えていて、次の後輩をうれしくさせています。高木小学校が楽しいと感じる子どもたちが多いことの1つは、こういった伝統がつながっているからだと感じています。チーム高木をうれしさいっぱい、笑顔いっぱいにする子どもたちが素敵です。



## かみましき「命と防災」の日

4月14日（月）にかみましき「命と防災」の日の取組で地震避難訓練をおこないました。避難するときのお約束「おかしも」を確認し、非常ベルを鳴らして実際に机の下に入る訓練を行いました。地震は、いつどこで起こるか分かりません。ことが起こった場合に備えて、どのようにして自分の命を守るのかについて学ぶことの大切さを改めて感じました。

\*にげる時のやくそく

お	さ	な	い
か	け	な	い
し	や	べ	ら
も	ど	ら	な

